

2020年8月7日

六甲山自然観察会 観察の眼

六甲ケーブル山上駅～ゴルフ場横～記念碑台～六甲山ホテルまでの周回
コース～記念碑台～六甲ケーブル山上駅

渡辺文子



ミズキ(ミズキ科) 葉脈が糸を引く
維管束の周りの繊維がコイル状になっている



ハシカグサ(アカネ科)
花の径約2mm。葉は対生で両面に白い毛



ハエドクソウ(ハエドクソウ科)
ちょっと捻じれて見えるけど十字対生



ミズタマソウ(アカバナ科)
葉は対生。白い主脈が目立つ



ダイコンソウ(バラ科)
花の径1, 5～2cm。果実は花柱の先がS字状に曲がる



キツネノボタン(キンポウゲ科)
花の径1, 2～1, 5cm。果実は集合果



ツクバキンモンソウ(シソ科)
茎は直立する。まだ花が残っていた



ヒヨドリバナ(キク科)
頭花は5個の筒状花からなる。



蕾

キツリフネ
(ツリフネソウ科)

萼片は3個。
後方の1個の萼片が
舟形になり先は距になる。
距の先は巻き込まない。

果実
触ると弾ける



ツユクサ(ツユクサ科)
一日花。花の下に蕾、さらにその下に小さな蕾。
円内 咲き終わって果実になりかけたのもの



タマアジサイ(アジサイ科)
蕾は総苞に包まれる



タンナサワフタギ(ハイノキ科) 鋸歯が粗くて大きい



アオハダ(モチノキ科) 鋸歯は低くやや鋭い



バイカツツジ(ツツジ科) 葉は互生。枝先に集まってつく。
花は葉の下側につき、下向きに咲く。皿型に広く開く。最後の花
果実は径約5mmの球形



ウスギヨウラク(ツツジ科)
果実



ホツツジ(ツツジ科)
花冠は3裂し反り返る。雌しべは花の外に突き出る



ベニドウダン(ツツジ科)
果柄が曲がって果実は上向きになる



ヤマジノホトギス(ユリ科)
花被片は平開する。花柱に斑点がない



ノギラン(キンコウカ科)



クサアジサイ(アジサイ科)
装飾花の萼片は3個



ヤマシクレ(レンプクソウ科)
果実は赤から黒色に熟す(9-10月)



ミヤコザサ(イネ科)
去年の葉には隈取がある



ゲンノショウコ(フウロソウ科)
3大薬草＝本種・センブリ・ドクダミ



クサギ(シソ科)
雄性期の花。雄しべが突き出ている



ツタウルシ(ウルシ科) 気根で伸びる
3出複葉。果実には縦の筋がある



キカラスウリ(ウリ科)
巻きひげで伸びる。葉の表面に光沢がある。



ノササゲ(マメ科) 3出複葉



アカネ(アカネ科) 花の径3~4mm
茎に下向きのトゲ。他のものに絡まって伸びる



ホドイモ(マメ科) 奇数羽状複葉
花の赤紫色は翼弁



左 ヤブカラシ(ブドウ科) 右 アマチャヅル(ウリ科)
アマチャヅルは葉の表面が有毛



アオツヅラフジ(ツヅラフジ科) 蔓は右上に巻く。
花は径約3mm ガクの中に6個の花弁



マタタビ(マタタビ科) 蔓は右上に巻く
円内は正常な果実。先の尖った長円形



サルナシ(マタタビ科) 蔓は右上に巻く
枝の断面ははしご状



ボタンヅル(キンポウゲ科)
1回3出複葉、不整の鋸歯
雄しべが萼片と同長。蕾の先が丸い



アマヅル(ブドウ科)
鋸歯の間は膨らむ



センニンソウ(キンポウゲ科)
3出複葉又は2~3対の羽状複葉
普通は全縁だが鋸歯の出るものもある
雄しべが萼片より短い。蕾の先が尖る



サンカクヅル
(ブドウ科)

鋸歯の間がやや凹む